

事業所名	グループホーム ゆうゆう館 (クリックすると事業者の情報にリンクします)
日付	平成20年12月18日
評価機関名	㈱東京リーガルマインド (クリックすると評価機関の情報にリンクします)
評価調査員	A:現職 介護支援専門員 資格・経験 ホームヘルパー2級、介護福祉士、介護支援専門員、認知症ケア専門士 B:現職 特別養護老人ホーム勤務 資格・経験 介護福祉士、社会福祉士、介護支援専門員、難病患者等ホームヘルパー
自主評価結果を見る	(事業者の自主評価結果にリンクします)
評価項目の内容を見る	(評価項目にリンクします)
事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)	(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か(記述) ・入居者が、「ここに来てよかった」と思える介護、本人の寂しい思いを汲み取ることの出来る介護の提供をめざしている。 ・理念として、「・福祉は人なり 常に相手の立場に立つ心 ・福祉は人なり常にその人のすべてを受容する心 ・福祉は人なり 常に自分を磨く心 ・福祉は人なり 常に責任と自信を持つ心 ・福祉は人なり 心と心のつながりを大切にす心」を掲げ、「・いつも穏やかな顔に優しい言葉 ・たった一言が人の心を傷つける ・たった一言が人の心を温める」との思いで入居者の暮らしを支えている。 ・入居者一人ひとりの立場に立った援助を心がけ、自己決定できる雰囲気作りを行い、入居者が精神的に安定・安心した生活を送り、自然体でその人らしく残りの人生を過ごしてもらえよう場の提供をめざしている。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述) ・一日のうち午前中は「動」、午後からは「静」の時間として生活リズムを作り、一人ひとりが自分のスペースを保ちながら生活できる場の提供に努めている。 ・スケジュールにとらわれず、畑作り、編み物、新聞を読む、歌を唄う等、入居者の趣味ややりたい事を尊重し、張り合いや喜びのある生活となるよう支援している。 ・入居者が孤独にならず、入居者同士が関わり合いながら生活できるよう、トランプや手作業等みんなが寄り添って楽しめる空間作りを行っている。 ・「回想法、記憶回復トレーニング」を取り入れ、個々の生活歴に応じた会話をすることで不安感を解消し、落ち着いた気持ちで過ごせる場の提供に取り組んでいる。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

外部評価の結果

講評
全体を通して特に良いと思われる点など(記述)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 児島湾の穏やかな景色が目前に広がっており、刻々と変化する海の青さと周囲を彩る木々の緑が心を癒してくれる恵まれた環境の中で入居者は生活している。 ・ 代表者の、「住み慣れた環境の中で、高齢者が安心して余生を送れる場所を作りたい」との思いからホームは設立され、随所にホームで生活する入居者に配慮した設計となっている。居室、ホール、トイレ、浴室、廊下等、全ての箇所に充分なスペースをとって設計されており、車椅子2台がゆっくりとすれ違うことが出来る広さになっている。 ・ 近年の物価上昇の影響はこのホームにも例外ではなく、代表者を始め管理者・職員は、いかに経費を抑えて現在の利用料を維持するかということに一丸となって取り組み、入居者・家族への負担が増えないように努力している。 ・ 看護師でもある職員を配置し、感染症の防止や体調管理等、入居者の健康には特に留意しており、入居者・家族共に安心が得られる。 ・ 美味しい食事を入居者に提供したいとの思いから、精米は毎日ホームで行い、庭の畑で取れた野菜や近所から差し入れてもらった新鮮な食材等を使った食事を提供し、食からも喜びや楽しさを感じてもらえるように配慮している。 ・ 「質の高いサービスを入居者に提供し、出来る限り最後までこのホームで過ごしてもらいたい」という管理者の強い思いと、温かい気持ちで心に響いてくるホームであった。
特に改善の余地が有るとと思われる点(記述)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 代表者が地域住民であり、近くには法人経営のヘルパーステーションやデイサービス、グループホームもあり、互いに連携を取りながら入居者の生活を支えている。今後は、運営推進会議に地域包括支援センターの職員や民生委員、地域の方等の参加を促し、より地域との連携を図っていかれることを期待する。 ・ 管理者は、「その日、その瞬間を大切に」との思いで、入居者の喜びや笑顔が溢れる介護を職員と共に提供し続けている。人員不足や重度な入居者が多い中、職員の負担も計り知れないと思うが、ボランティアなど地域資源を活用し、散歩等より入居者の活動の機会が増えればと思う。

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にされた整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買物の支援	○	
23	認知症の人への受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述) ・ 個人の写真を掲示する際には、本人、家族の了解を得てから行っている。また、トイレ使用時には、利用が重なることがないように声をかける等、プライバシーの確保に留意している。 ・ 入居前の経験や技量に応じて、畑作りや台布巾作り、調理の下ごしらえや掃除等、様々な作業を分担し、個々の得意分野で持てる力を発揮してもらえよう働きかけている。 ・ 短歌を書き、職員との交換ノートを作っている方、クロスワードに応募している方、編み物を毎日続けている方など、その人の好きな事や楽しみ事を見つけ、生き生きとした表情で暮らしてもらえようように支援している。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組		○
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述) ・ ヒヤリハット、事故報告書は、系列のグループホームとも連携し、全職員で回覧して情報を共有し、一人ずつコメントを書いて再発防止に向けて取り組んでいる。また、問題が起きた時には、早急に対応し、日中の問題を夜間まで引きずらないように心がけている ・ 感染症、食中毒の発生防止には特に気をつけており、食事のトレイ等アルコール消毒を施し、入居者の健康な生活を守っている。 ・ 全職員がレベルアップを図り、質の高い介護を提供できるよう、職員の資格取得や研修への参加を積極的に応援している。		